

柏市立西原中学校

2年

齋藤

唯花

「パルスオキシメーターと私の家族」

パルスオキシメーターを皆さんご存知ですか。私が初めてパルスオキシメーターを知ったのは、基礎疾患を持つた弟が生後間もない時から病棟でつけている姿を見たときでした。初めは、パルスオキシメーターがどんな役割をしているのか知りませんでした。弟がつけている姿を見たことで、医療に関してすこく興味が湧きました。

呼吸状態は、病状の悪化や改善により、一刻と変化します。これまでは「採血」により血液中の酸素量を測定していましたが、時間がかかります。そこで登場するのがパルスオキシメーター。パルスオキシメーターは、LEDライトを指先の皮膚に当てただけで、血液中に流れる酸素量をパルセンティツで教えてくれます。また、採血なしで呼吸状態がわかる優れた医療機です。そして意外と知ら

れていませんが、胃カメラと並び、日本発で世界中で広がった医療技術です。

昨年から世界中に猛威を振るっている新型コロナウイルス。自覚症状のないまま、突然重症化して呼吸不全に陥るサイレント肺炎の症例が世界中で報告され、診察には酸素量の計測が必須となりました。

また、ディスプレイ機能には文字盤がハッキリ見えるようにLED・有機ELが使われています。この文字盤には、2014年にノ

ーベル物理学賞を授与された青色LEDが使われていました。私は将来パルスオキシメータを進化させて人間のストレス量も数値化できれば高血圧の影響を受けやすい病気などに役立つと思います。

もし、実現できたらたくさん人の命が助かり更に進化していくのではないのでしょうか。私はこの経験をもとに、病気で苦しんでいる人を一人でも多く救える医者になり、その人たちに明るい未来を与えていきます。